

2022年8月21日

---

8月21日は午前10時より主会堂にて合同礼拝が持たれます。  
鈴木義兄が前奏を担当されます。礼拝の後、晴天の場合は教会の前の通りで、雨天の場合は Howel Hall でポットラックランチがあります。教会がホットドッグとハンバーガーを用意しますので、サイドディッシュ、デザートなど一品お持ちください。

### “キリストにある交わり” (Fellowship in Christ)

“しかし、神が光の中にいますように、わたしたちも光の中を歩くのならば、わたしたちは互に交わりを持ち、そして、御子イエスの血が、捨てての罪からわたしたちをきよめるのである。” (ヨハネの第一の手紙 1章7節)

先日読んでいた “St. Benedict’s Tool Box” という本の中で、ホスピタリティーについて書かれていたのですが、非常にわかりやすく、クリスチャンとしての生き方を指南している本でした。その中で、ホスピタリティーとは存在という贈り物 (The Gift of Presence) であると書かれていて、とても感銘を受けました。人を招いたりすることも、もちろんホスピタリティーですが、それ以前にクリスチャンが自分自身をその場に存在させる意味について教えられました。そして思い出したのが、Koinonia、聖書における交わりという言葉です。

私たち現代に生きている者たちは、信仰に関して個人の自由、という考えを重要視して、共同体的な要素を外したがる傾向があります。信仰は神と個人との問題、となれば、学校、職場、家族、といったそれぞれの共同体に生きている中で、さらなる共同体の存在は二の次になるのかもしれませんが。しかし聖書の中には交わり、という言葉があり、ヨハネは信徒たちが光の中を歩くのなら、私たちは互いに交わりを持つとっています。

教会に集うことの重要性は、自分と神との関係だけでなく、信徒との霊的な交わりがあるからです。そしてどこにいても、クリスチャンにとって信徒との交わり。すなわち教会生活は霊的なかなめとなります。どうかキリストにおいて、私たちが互いに交わりを持ち、存在という贈り物を示すことができます様にお祈りします。(Yuki Scroggins)

## 消息

—教会の内外で主の癒しを必要とされている方々のために、また、世界におけるパンデミックが一日も早く終息に導かれるように、またウクライナに平和がもたらされるように祈りましょう。

—BA.5という新型コロナの変異株がアメリカでも広まっております。引き続き気を付けてお過ごしください。

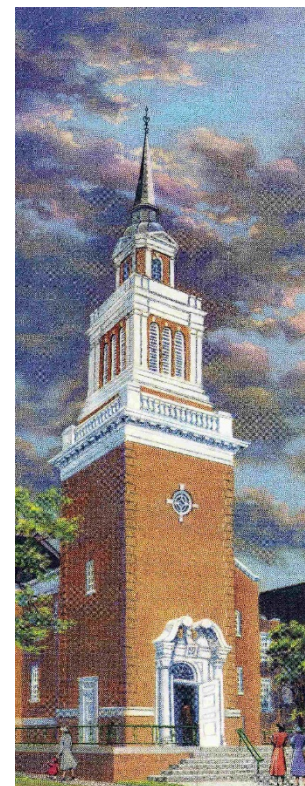
## お知らせ

—9月10日は、午前9時から午後12時まで、教会の前の通りで、恒例のヤードセールが行われ、カレン語部とスペイン語部の有志たちが、軽食を販売します。

—ウクライナの危機に関して、International Ministriesでは支援を行っております。興味のある方は下記のリンクを通して寄付をしてください。支援金は、ウクライナのバプテスト教会へ送られます。

<https://www.internationalministries.org>

—アメリカでは、パンデミック以来、アジア系住民への差別偏見が問題になっていますが、アジア系であるということで、嫌がらせなどの被害を受けた方は、Stop AAPI Hateのサイトで被害を報告することができます。また、政治的な活動については、AAAJ(Asian American Advancing Justice)などのサイトをチェックされることをお勧めいたします。



# 週報

第3886号

2022年8月21日

ノースショア バプテスト教会 日本語部  
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640  
Phone: 773-728-4200 Web: [www.northshorebaptist.org](http://www.northshorebaptist.org)

---

発行: 2022年8月17日—スショアバプテスト教会日本語部  
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)  
電話: 773-728-4200